

**多摩第二小学校・東愛宕小学校
(愛宕地区統合新校)の通学区域の変更に
関する保護者説明会**

平成24年9月1日

多摩市教育委員会

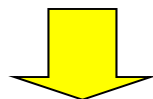
これまでの経過

- 17年9月 「多摩市立小・中学校の一定規模及び適正配置の基本方針」
⇒見直しの最優先校 竜ヶ峰小・多摩第二小
これに準じる学校として、東・西愛宕小と隣接校
- 17年10月 審議会(第2期)に、竜ヶ峰小・多摩第二小の見直しを諮問
- 21年4月 多摩第二小と竜ヶ峰小が統合
- 21年5月 審議会(第3期)に、東・西愛宕小、多摩第二小の見直しを諮問
- 21年12月 審議会からの答申
⇒多摩第二小との学区変更は今後の検討課題
- 23年7月 今後の通学区域の見直し等に関する保護者アンケート
- 23年12月 「既存地区3小学校及び愛宕地区統合新校 教育環境整備計画」
- 24年1・2月 二小PTCA役員会に出席
- 24年4月 「多摩市立学校の通学区域制度の見直しにあたっての指針」
- 24年5月 意見交換会を開催
- 24年7月 通学区域の変更計画(原案)の説明会・パブリックコメントの実施

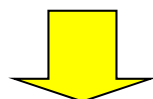
計画(原案)の考え方

- 多摩第二小、東・西愛宕小ともに現在の教育環境には、学校規模に起因する課題がある

※多摩第三小学校は、適正規模の学校であり
教育環境に大きな課題はない



- 地域との連携や子どもたちの安全確保に配慮しながら、学校規模の適正化を図る必要がある



学区変更、学校統合により
3小学校を2小学校に再編することで
両校の教育環境の向上を図る

計画(原案)の考え方

児童数は、平成24年5月1日現在

学校規模の適正化を図ることで、教育環境の向上を図る



多摩第二小(802人)

学区分割

ABCDエリア(269人)

学区変更
・統合


東愛宕小(80人)
⇒閉校

西愛宕小(99人)
⇒閉校

両校の教育環境の向上を図る

新しい学校づくり

通学区域変更の方法

	学年進行方式	全学年一斉方式
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 在校生は学校を異動することがないため、通学区域の変更に伴う児童・生徒、保護者への負担を軽減できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模校・小規模校がもつ課題の早期解決につながる ● 変更する区域全体で一時期に異動することで、コミュニティとしてのまとまりを維持しやすい
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校規模の格差による課題の解決に一定の時間がかかる ● 兄弟がいる家庭といない家庭で就学する学校が異なってしまう ● 変更対象地区の一部の児童・生徒のみが通学区域の学校に就学することになり、コミュニティとしての一体性がなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 途中の学年で学校を異動する児童・生徒、保護者への環境変化による影響が大きい <ul style="list-style-type: none"> ○ 友人関係などの再構築 ○ 学校異動による心理的不安 ○ 保護者の負担 <p> 経過措置などの必要性あり</p>

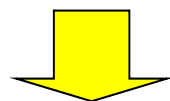
計画(原案)の考え方

■通学区域の変更方法

○学年進行方式に比べて、一斉異動方式をとるメリットのほうが上回る

メリット

- 早期に学校規模の適正化を図ることができる
- エリアのまとまりを一定程度維持できる
- 子どもたちの安全確保につながる



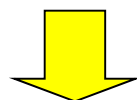
在校生の転籍に伴う経過措置などの一定の配慮が必要

計画(原案)の考え方

■通学区域の変更に伴う経過措置

○一斉異動方式をとるには、一定の経過措置が必要

「やむを得ない理由がある場合には、現籍校に在籍できる」



経過措置の適用範囲が広がると、学年進行方式と変わらなくなる

- 二小の児童数・学級数は大幅には減少しない
- 東愛宕小は複数学級を確保できない学年が生じる
- エリア内で児童の就学校がバラバラになる
- 兄弟がいない新1年生のみが東愛宕小に通学することになる

計画(原案)の考え方

■経過措置「やむを得ない理由」の範囲

- 今回の計画(原案)では、経過措置で二小に在籍できる児童を「やむを得ない理由がある場合」に限定
- この「やむを得ない理由」には、各児童や家庭で様々な理由が考えられるが、これをすべて列挙するのは難しいため、ある程度共通するものとして、「6年生に兄弟がいる場合、複数の児童が在籍している場合」を、これに該当するものとして例示
- この例示に該当する児童は対象エリアの児童の半数近くになるため、全員が在籍することを希望すると、結果的に二小、東愛宕小ともに課題の解決には結びつかない

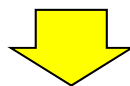
安心して転籍いただくために

教育委員会としては、

- 強制的に全員を転籍させること
 - 経過措置を細かく設定し、これに該当する場合には在籍できる
とすること
- ⇒好ましいことではない

○二小地区、愛宕地区の子どもたちの教育環境をよりよいもの
にしていくための見直し

○転籍を強要されたとの思いがあるままでは、移っていただい
ても新しい学校の運営に協力が得られない



「二小の教育環境の向上」
「新しい学校づくり」には、
保護者の理解と協力が必要

基礎学力の定着、充実
心のケア対策などの必要性

新しい学校づくり

■学区変更により児童数が増加する26年度から、現在の東愛宕小の位置で新しい学校づくりを進める

●新校の設置

- 学校の名称を変更
- 新しい教育目標・教育方針の設定

●学校施設などの改修

- 25年度中に校舎改修、北側斜面・中庭の整備、南側斜面に果樹園の設置などを行う
- 学童クラブの民間委託に合わせ、新校の校地内への移設に向けた庁内調整を図る

東愛宕小を安心して通える学校にするために

●基礎学力の定着・充実

- ピアティーチャーの重点配置
- 大学連携による学習指導
- 放課後の補習授業

●ESD(持続発展教育)の推進

- 防災教育推進モデル校(24・25年度)
- 学校菜園、果樹園を利用した大学との連携授業(25年度～)

転籍による不安や負担を解消するための対策

●児童の事前交流

- 25年度の学習活動、学校行事での交流
- 26・27年度の継続交流

●教員、スクールカウンセラーの配置

- 一斉異動により二小の学級数を減少できた場合
 - 教員を増員配置(26年度2人、27・28年度1人増員)
 - 学校適用支援相談員(スクールカウンセラー)の配置
 - 二小の教員を東愛宕小に配置することを都に要望

ピア・サポート プログラム モデル事業(案)

I 学び力向上プラン

- 1 帝京大学教育学部の学生による学習支援
- 2 仮称「赤ペン教室」の実施

II 体力向上プラン

- 1 校庭の一部芝生化
- 2 傾斜や斜面を利用した遊具の配置

III 自尊心向上プラン

- 1 音楽で育む心の安定と自信

参考資料

- 学校別の児童数・学級数(平成24年5月1日現在)
- 未就学児の人数(平成24年5月1日現在)
- 通学区域変更の検討対象区域
- 多摩第二小学校と東愛宕小学校の通学区域の変更の概要
- 通学区域を変更する区域(小学校)
- 通学区域変更に伴う経過措置・特例措置
- 東愛宕小学校と西愛宕小学校の統合
- ABCDエリアから東愛宕小までの想定通学路
- 平成24年度 小学校通学区域図
- 平成26年度 小学校通学区域図
- 平成28年度 小学校通学区域図

学校別の児童数・学級数(平成24年5月1日現在)

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
多摩第二小	122	4	118	4	157	4	141	4	123	4	141	4	802	24
多摩第一小	119	4	127	4	134	4	117	3	103	3	110	3	710	21
北諏訪小	77	3	99	3	83	3	93	3	108	3	83	3	543	18
大松台小	72	3	86	3	96	3	76	2	85	3	93	3	508	17
南鶴牧小	92	3	106	3	74	2	86	3	72	2	60	2	490	15
連光寺小	57	2	72	3	68	2	72	2	88	3	76	2	433	14
永山小	76	3	67	2	88	3	60	2	72	2	61	2	424	14
東落合小	68	2	69	2	64	2	63	2	74	2	62	2	400	12
東寺方小	70	2	67	2	51	2	53	2	67	2	46	2	354	12
多摩第三小	59	2	56	2	59	2	56	2	64	2	52	2	346	12
西落合小	56	2	61	2	62	2	53	2	44	2	48	2	324	12
貝取小	41	2	50	2	51	2	62	2	58	2	60	2	322	12
豊ヶ丘小	48	2	46	2	49	2	45	2	41	2	56	2	285	12
聖ヶ丘小	35	2	38	2	44	2	42	2	61	2	60	2	280	12
瓜生小	41	2	31	1	47	2	47	2	52	2	49	2	267	11
西愛宕小	14	1	11	1	20	1	12	1	25	1	17	1	99	6
諏訪小	8	1	11	1	15	1	15	1	16	1	30	1	95	6
東愛宕小	11	1	13	1	13	1	12	1	13	1	18	1	80	6

※国の基準による分類 25学級以上⇒大規模校 19～24学級⇒準適正規模校 12～18学級⇒適正規模校 11学級以下⇒小規模校

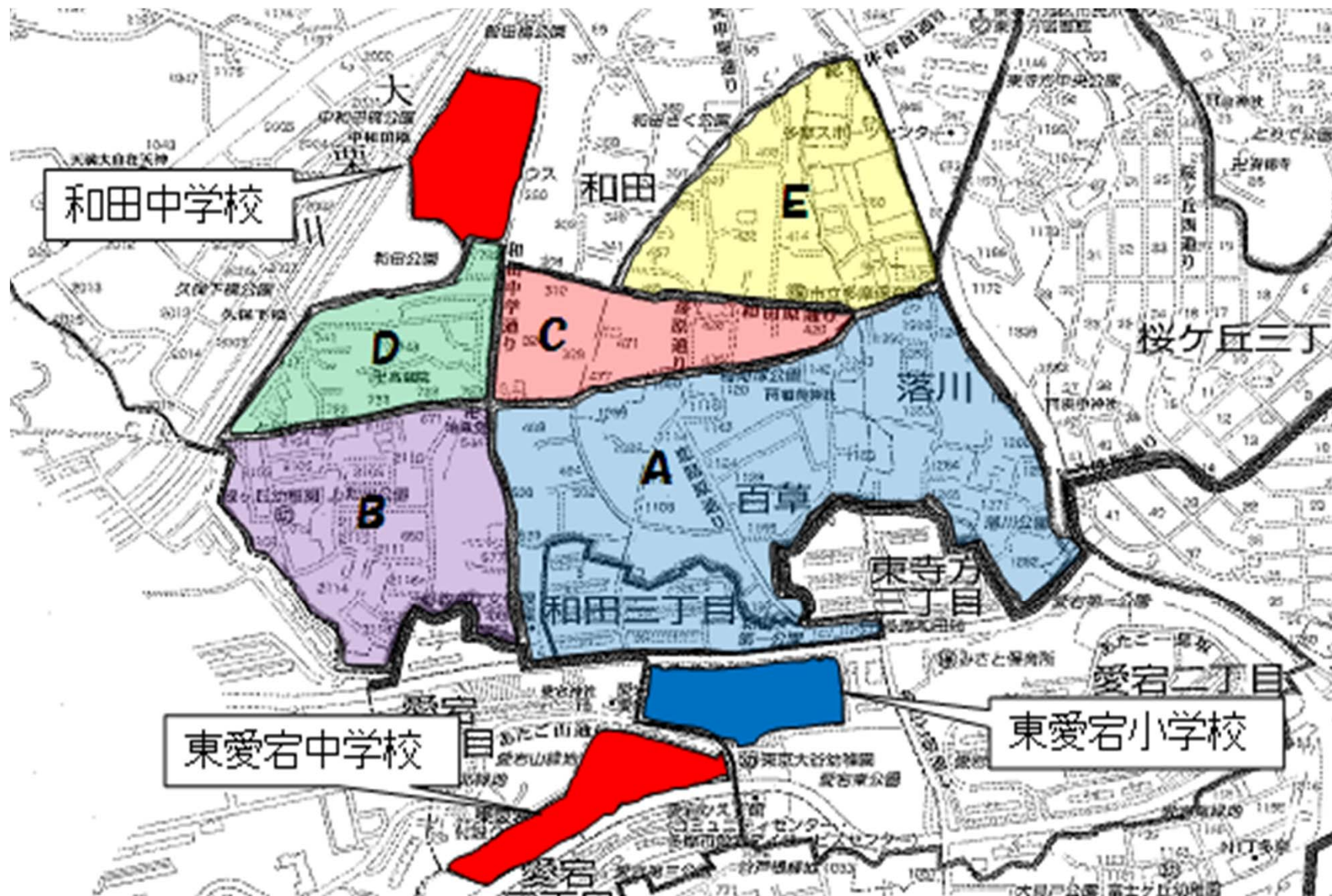
未就学児の人数(平成24年5月1日現在)

未就学児数 (平成24年5月1日現在)

入学年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	25～30計
多摩第二小	139人	155人	143人	148人	125人	121人	831人
内訳	Aエリア	23人	21人	25人	42人	20人	155人
	Bエリア	8人	7人	4人	9人	5人	38人
	Cエリア	7人	9人	7人	10人	9人	44人
	Dエリア	13人	12人	11人	9人	9人	63人
	ABCD計	51人	49人	47人	70人	43人	300人
	その他	88人	106人	96人	78人	82人	81人
東愛宕小	19人	14人	11人	12人	13人	7人	76人
西愛宕小	27人	20人	14人	20人	11人	10人	102人

ABCD+東	70人	63人	58人	82人	56人	47人	376人
ABCD+東+西	97人	83人	72人	102人	67人	57人	478人
二小-ABCD	88人	106人	96人	78人	82人	81人	531人

通学区域変更の検討対象区域



多摩第二小学校・東愛宕小学校・西愛宕小学校、和田中学校・東愛宕中学校の
通学区域の変更、学校統合に関する計画(原案)

多摩第二小学校と東愛宕小学校の通学区域の変更

実施時期

平成26年4月1日

変更する区域

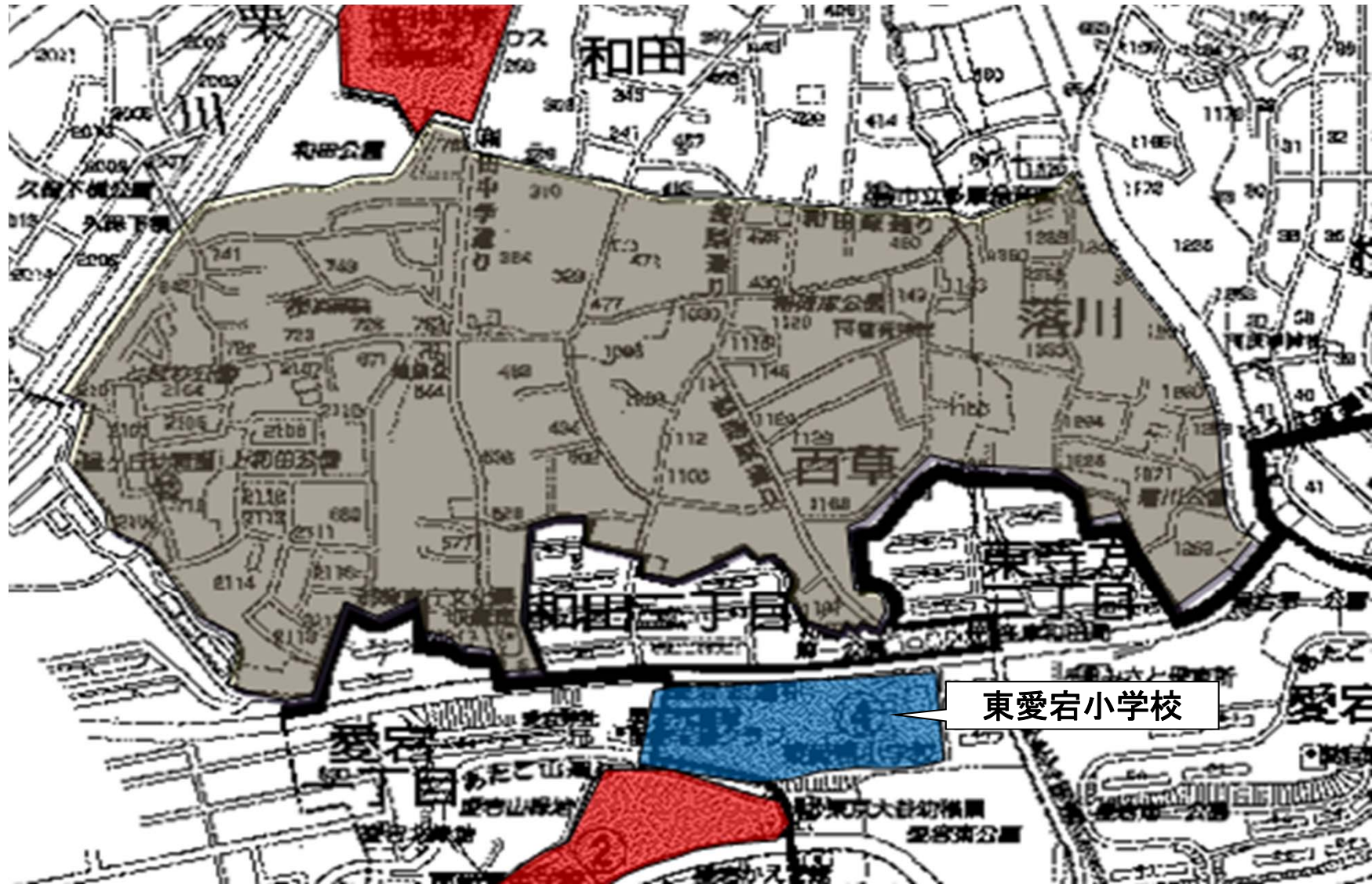
網掛けの区域を東愛宕小学校の通学区域とする

変更の方法

原則として、在校生も含めて通学区域を変更します
平成26年度から、変更する区域の児童は、東愛宕小学校に
就学・転籍

通学区域を変更する区域(小学校)

(平成26年度から東愛宕小学校の通学区域とする区域)



多摩第二小学校・東愛宕小学校・西愛宕小学校、和田中学校・東愛宕中学校の
通学区域の変更、学校統合に関する計画(原案)

通学区域変更に伴う経過措置・特例措置

① 経過措置(小学校・中学校共通)

平成26年度から通学区域を変更しますが、すでに就学した児童・生徒への一定の配慮が必要であることから、多摩第二小学校・和田中学校に卒業まで在籍することができるよう、以下の経過措置を設けます。

ア 平成25年度に、多摩第二小学校の5学年、和田中学校の2学年に在籍する児童・生徒は、卒業まで現籍校に在籍することができるようにします。

イ 平成25年10月1日現在、多摩第二小学校の1～4学年、和田中学校の1学年に在籍する児童・生徒のうち、平成25年10月に実施予定の「転籍・在籍希望調査」において、「やむを得ない理由により、卒業まで現籍校への在籍を希望する」としたものは、卒業まで現籍校に在籍できるようにします。

多摩第二小学校・東愛宕小学校・西愛宕小学校、和田中学校・東愛宕中学校の
通学区域の変更、学校統合に関する計画(原案)

通学区域変更に伴う経過措置・特例措置の内容

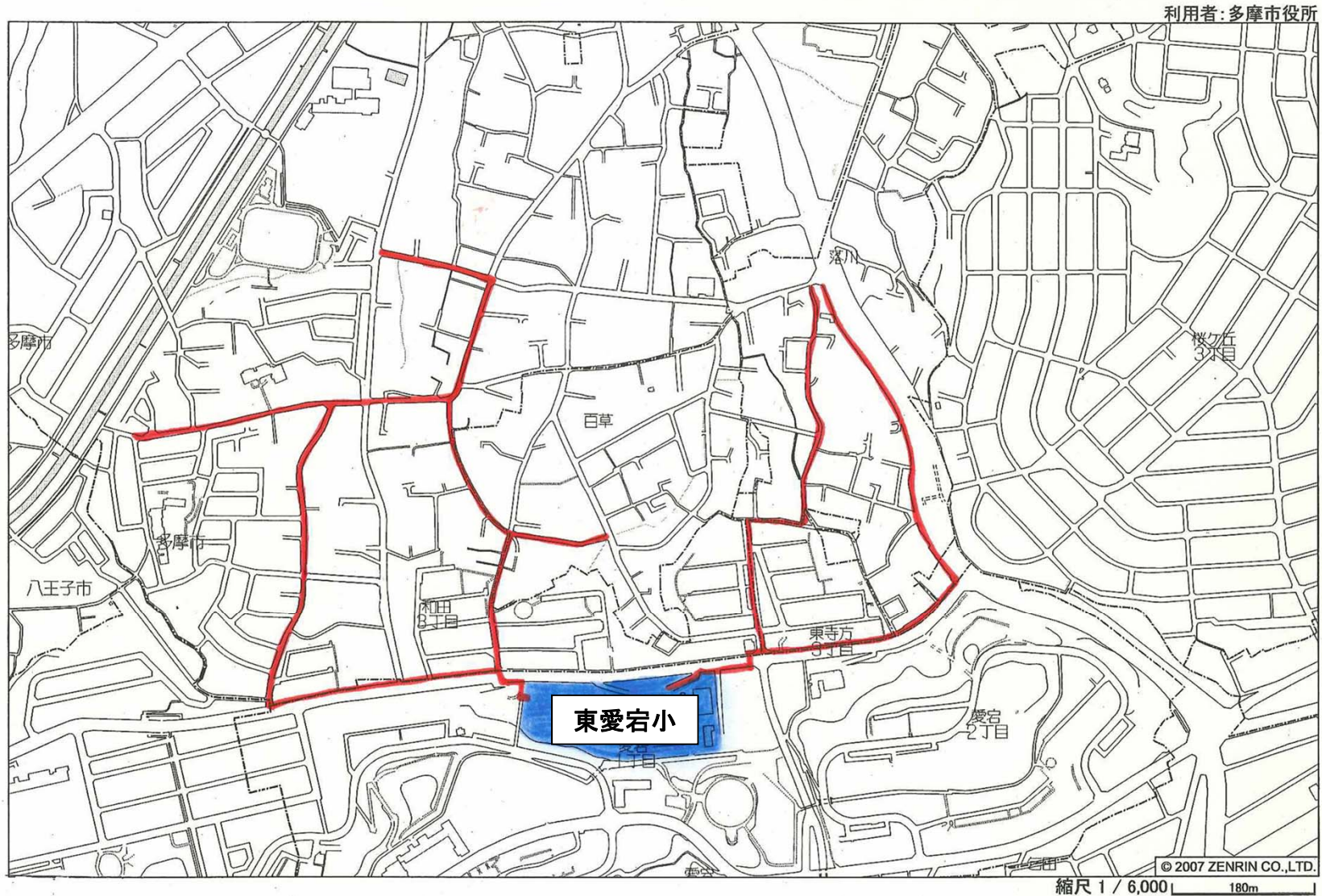
24年度	25年度	26年度	就学(転籍)校	経過措置・特例措置
4歳児	5歳児	1年生 ※1	東愛宕小 (愛宕地区 統合新校)	※1 指定校以外の学校に就学できる基準に該当する場合
5歳児	1年生 ※2	2年生		経過措置イ ※2希望により、25年度から東愛宕小に就学できる
1年生	2年生	3年生		経過措置イ
2年生	3年生	4年生		
3年生	4年生	5年生		
4年生	5年生	6年生 ※3	多摩第二小	経過措置ア ※3希望により東愛宕小に転籍できる
5年生	6年生	中1生 ※1	東愛宕中	特例措置ウ・エ ※1指定校以外の学校に就学できる基準に該当する場合
6年生	中1生 ※2	中2生		経過措置イ ※2希望により、25年度から東愛宕中に就学できる
中1生	中2生	中3生 ※3	和田中	経過措置ア ※3希望により東愛宕中に転籍できる

多摩第二小学校・東愛宕小学校・西愛宕小学校、和田中学校・東愛宕中学校の
通学区域の変更、学校統合に関する計画(原案)

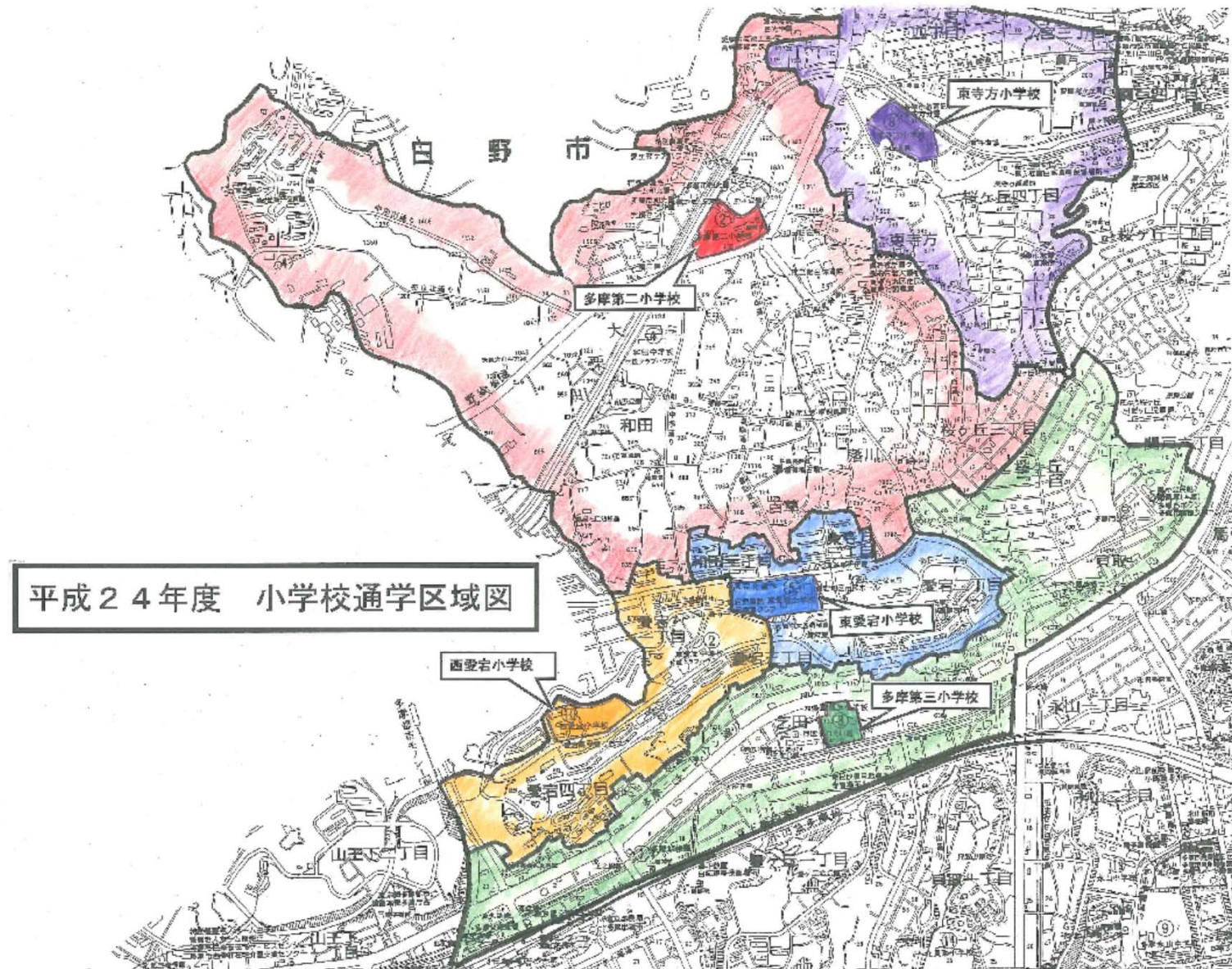
東愛宕小学校と西愛宕小学校の統合

実施時期
平成28年4月1日
統合新校の位置
現在の東愛宕小学校の位置
統合新校の通学区域
①と②と③を合わせた区域
① 現在の東愛宕小学校の通学区域
② 通学区域の変更により新たに東愛宕小学校の通学区域となる区域
③ 現在の西愛宕小学校の通学区域

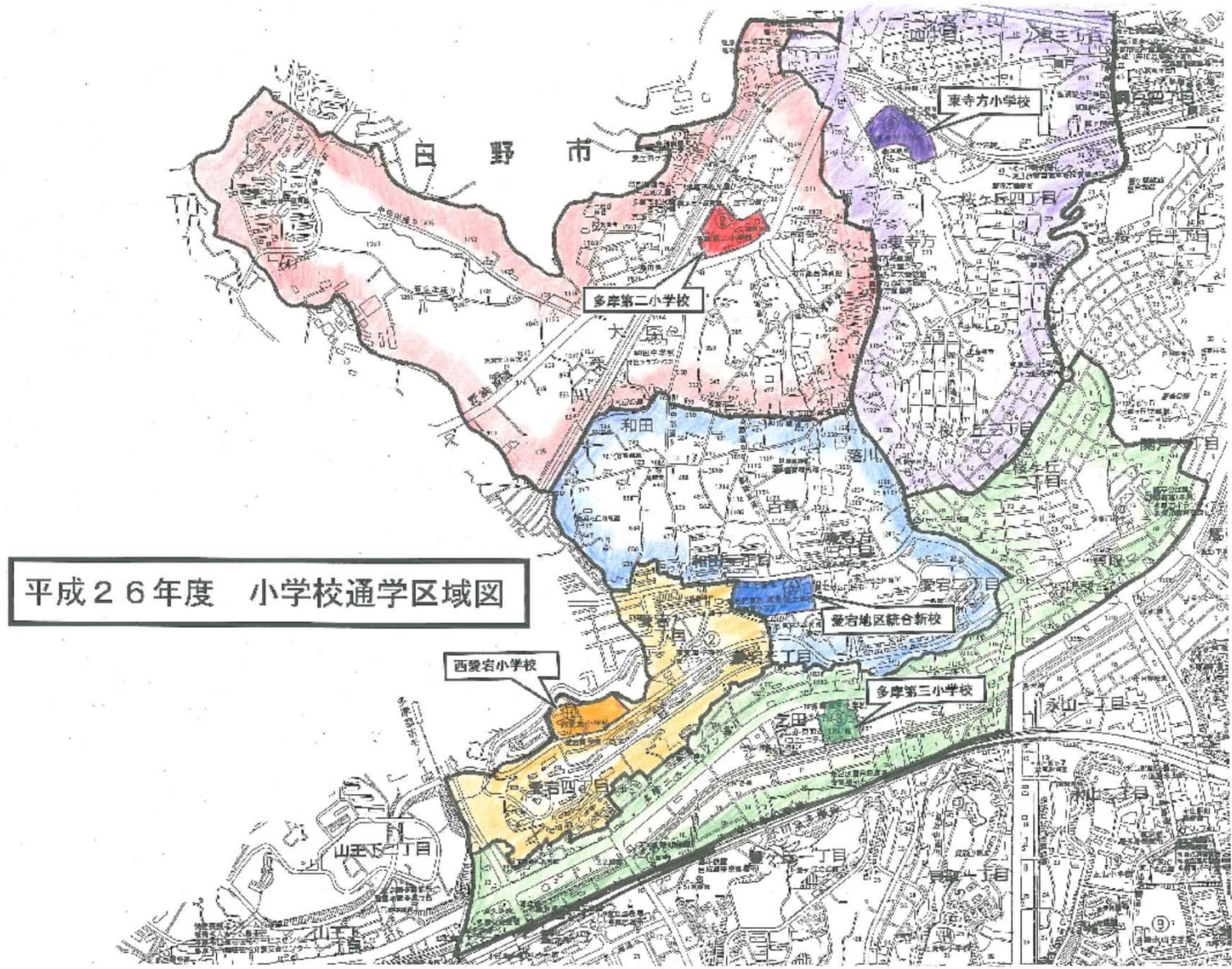
ABCDエリアから東愛宕小までの想定通学路



平成24年度 小学校通学区域图



平成26年度 小学校通学区域图



平成28年度 小学校通学区域图

